

東北圏広域地方計画の見直しについて

国土交通省 国土政策局

平成24年1月16日

東日本大震災からの復興の基本方針（東日本大震災復興対策本部：H23.7.29）

国土の防災性を高める観点から、「逃げる」という視点も含め、ハード・ソフトの対策を組み合わせ、災害への対応力を高めた国土基盤の整備を行うなど災害に強い国土構造への再構築を図るとともに、そのための広域的な国土政策の検討、見直しを行う。

災害に強い国土づくりへの提言（国土審議会政策部会防災国土づくり委員会：H23.7.26）

主たる被災地となった東北圏で新たな将来ビジョンとなる広域地方計画改定の検討が行われる場合には、本とりまとめの内容が、同計画改定の議論のベースとして活用されることを期待。

持続可能で災害に強い国土づくりへの期待

東北圏において現行の広域地方計画の点検作業に先行的に着手

東日本大震災で顕在化した課題例

- 災害時の円滑な連携のための交通基盤施設の多重性、代替性確保
- 災害に強い持続可能なエネルギー供給体制の構築
- ハード・ソフトを組み合わせた多重防御による津波への備え
- 広域的な災害支援体制の構築等に向けた多様な主体の連携

広域地方計画
協議会での議論

被災自治体の
復興計画・事業

← 広域的な課題
の抽出

↓ 課題に対応した新たな戦略的目標
や広域的なプロジェクトの検討

↑ 復興に向けた先駆的
プロジェクト等の反映
とフォロー

東北圏広域地方計画協議会において平成24年夏頃を目途に、全国のモデルとなる、持続可能で災害に強い新たな地域ビジョンを提示すべく、**広域地方計画の見直しを検討**（3次補正予算：24百万円、H24年度予算：62百万円）

広域地方計画の策定（平成21年8月）

- ・8つの広域ブロックごとにその地域特性を踏まえ、①国土の形成に関する基本的な方針、②目標、③広域の見地から戦略的に実施すべき具体的な施策を定めた地域戦略（計画期間は概ね10年間）
- ・国、地元自治体、経済界等が参画した広域地方計画協議会での議論を踏まえ、国土交通大臣が決定

東北圏広域地方計画

キーコンセプト

豊かな自然の中で
交流・産業拠点として発展する
ふるさと「東北にっぽん」

戦略的目標

- ◆ 恵み豊かな自然と共生する環境先進圏域の実現
- ◆ 雪にも強く安全で安心して暮らせる温もりのある人に優しい圏域の実現
- ◆ 地域の資源、特性を活かした世界に羽ばたく産業による自立的な圏域の実現
- ◆ 交流・連携機能の強化による世界に開かれた圏域の実現
- ◆ 東北圏民が一体となって地域を考え行動する圏域の実現

広域連携プロジェクト

「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等大規模地震災害対策プロジェクト」などの13プロジェクト

東北圏広域地方計画協議会

（会長：高橋宏明 東北経済連合会会長）

【県・政令市】

- 東北圏 ○その他
- ・7県知事 ・北海道知事
- ・2政令市長 ・富山県知事

【経済団体】

- ・東北経済連合会会長
- ・東北六県商工会議所連合会会長
- ・新潟県商工会議所連合会会頭

協議会の構成機関

【市長会・町村会】

- ・東北市長会会長
- ・新潟県市長会会長
- ・宮城県町村長会会長
- ・新潟県町村長会長

■計画区域

青森県、岩手県、宮城県
秋田県、山形県、福島県
新潟県

【国の地方支分部局】

- ・東北管区警察局長
- ・東北総合通信局長
- ・東北財務局長
- ・東北厚生局長
- ・東北農政局長
- ・東北森林管理局长
- ・東北経済産業局長
- ・東北地方整備局長
- ・東北運輸局長
- ・第二管区海上保安本部長
- ・東北地方環境事務所長 等